

Timer for LTドキュメント

- タイマー機能
 - タイマー開始、停止
 - タイマー時間選択
 - タイマー設定
- 時刻通知機能
 - 通知設定画面
 - スケジュールの変更
- 記録機能
- IFTTT連携
 - IFTTTアカウント作成
 - アプレット作成
 - Webhooks keyを控える
 - Time for LTの設定
 - 使ってみる

タイマー機能

タイマー開始、停止

タイマーを開始するには中央にある時間(①)をタッチします。



タイマーを一時停止させる場合は上部の停止ボタン(③)を押します。



一時停止後再開する場合は時間(①)を押します。

上部のリセットボタン(4)を押すと時間が戻り、やり直しができます。



タイムアップ時に音を鳴らすかどうかをサウンドスイッチ(2)で切り替えられます。アプリがバックグラウンド中にタイムアップした場合は通知で知らせます。通知時に音が出るかどうかはサウンドスイッチの切り替えに従います。

タイマー時間選択

中央にある時間(1)を長押しするとタイマー時間選択画面が表示されます。

予め設定されている時間や以前使用した事がある時間は上部(5)から選択できます。選択すると同時にタイマーが開始します。(選択でタイマーが開始しないようにも設定できます)



画面下部(⑥)で時間の変更や追加が出来ます。

タイトルを変更すると新たな時間として登録されます。(但し、重複しているタイトルがある場合は更新になります)

0秒にクリアーボタンを押すとタイトルが空欄になり時間が0になります。

保存を押すとタイマー時間が登録されタイマーが開始されます。

閉じるボタンを押すと編集中のデータは破棄され登録されません。

上部(⑤)のセルを左にスワイプすると編集と削除メニュー(⑭)が表示されます。

編集を選択するとタイトルの変更ができます。

削除を選択するとタイマー時間の削除が出来ます。



タイマー設定

画面左上部の情報アイコン(⑧)を押すと設定画面が表示されます。





- カウントアップ(⑨)

- オンにするとタイマーの時間表示がカウントアップに変わります。

- 時間選択とともにスタートする(⑩)

- オンにするとタイマー時間を選択するとともにタイマーが開始します。

- 時間帯(⑪)

- 5分前や1分前などに知らせたい場合に時間帯を使います。

- 3つの時間帯を設定できます。

- 設定したい時間帯を押すと時間帯設定画面かが表示覚ます。

- 設定した時間(⑫)以下になると表示されている色にタイマーが面が変わります。色は固定で変更できません。

- その時にサウンドで指定した音が鳴ります。



時刻通知機能

時刻通知機能は学校や職場の様に、休憩や昼休み時間をチャイムで知らせる機能です。

位置情報を利用する事で職場にいる時だけ通知するという事が出来ます。

また、エリアや時間が記録され、勤怠記録としての活用も出来ます。

位置情報はRegion Monitoring機能を使用しているためバッテリーの消費が最小限に抑えられています。

タイマー画面下部の次の通知(①)を押すと通知設定画面が表示されます。



通知設定画面

通知設定画面で変更した場合に保存ボタン(②)を押す事で設定されます。

キャンセルボタン(③)を押した場合はそれまでの変更がすべて破棄されます。



- 通知を使用する

- 通知を使用するスイッチ(④)をオンにすると通知が利用できます。オフにすると通知されません。

- スケジュール個別の通知

- 各スケジュールのセルにある個別のスイッチ(⑤)をオンオフすると個別に通知するしないを設定できます。



スケジュールを変更する場合は変更したいスケジュール(⑤)を選択します。
新たに追加する場合は + ボタン(⑥)を押します。

するとスケジュール設定画面が表示されます。

- タイトル(⑧)
 - スケジュールのタイトルを設定します。
- サウンド(⑨)
 - 設定時間(⑩)で設定した時刻になった時に鳴らす音を選択します。
- 時間(⑩)
 - 通知する



時間を変更する場合は変更したいセル(⑩)を選択します。
追加する場合は + ボタン(⑪)を押します。

- 通知使用する(⑬)
 - この時間の通知をするかしないかを設定します。
- 通知メッセージ(⑭)
 - 通知される時に表示するメッセージを設定します。
- 通知時間(⑮)
 - 通知する時間を設定します。
現在時刻をセットボタンを押すと現在時刻が設定されます。



位置情報を設定する場合は設定ボタン(12)を押します。

- エリアによる制限をする
 - エリアによる制限をするスイッチ(16)をオンにすると指定した範囲にいる場合に通知がされます。また、このエリアにいた時間が記録として残ります。
- 地図(17)
 - 地図をクリックするとピンが表示されエリアのセンターとして指定できます。
- ここボタン(18)
 - ここボタンを押すと現在地がセンターとして指定されます。
- 範囲選択(19)
 - エリアの範囲を設定できます。



記録機能

タイマーが動作していた時間と時刻通知で設定したエリアにいた時間が記録として残ります。
タイマーと時刻通知の位置情報を組み合わせると何時何処で何をしたか確認できるようになります。

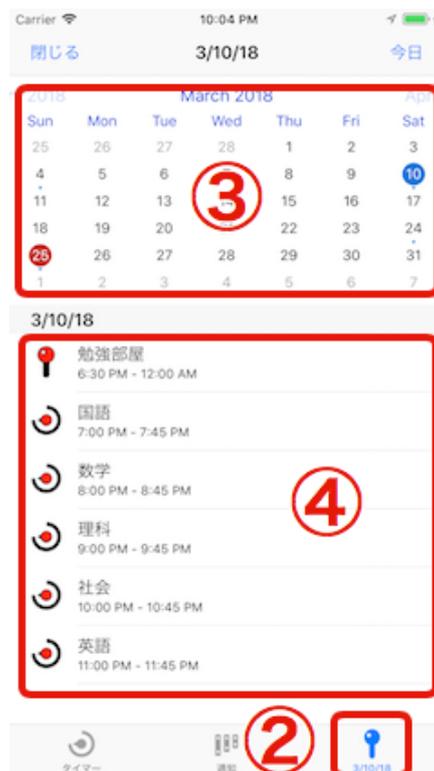
Timer for LT Lite版はまだこの機能に対応していません。順次対応する予定です。

タイマー画面下部の次の通知(①)を押します。



ログボタン(②)を押すと記録画面が表示されます。

カレンダー(③)で選択した日付に動いていたタイマーや居たエリアが記録と下(④)に表示されます。



画面を横向きにするとタイムテーブルとして確認できます。



IFTTT連携

バージョン2.3.8よりIFTTT(イフト)との連携機能が追加になりました。

IFTTTと連携することでタイマーを使用していた時間や、登録していたエリアにいた時間をiPhoneやMacのカレンダーやGoogle Calendarなどに記録することができます。

タイマーを終了または中断した時、エリアから外に出た時にTimer for LTからIFTTTのWebhooksトリガーが発信されます。

Timer for LT ではアイテムを購入するか動画広告を見ることで利用できるようになります。

IFTTTアカウント作成

IFTTTのサイトにアクセスするとアカウントの作成ができます。

GoogleやFacebookのアカウントをお持ちの場合はそのサービスのアイコンをクリックすると簡単にサインイ

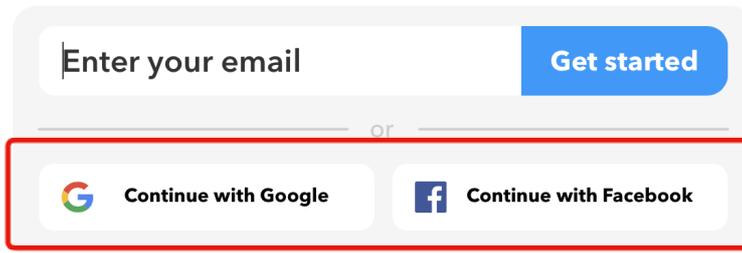
ンすることができます。

[IFTTT\(IFTT\)サイトにアクセスする](#)

IFTTT

A world that works for you

IFTTT is the free way to get all your apps and devices talking to each other. Not everything on the internet plays nice, so we're on a mission to build a more connected world.



Enter your email

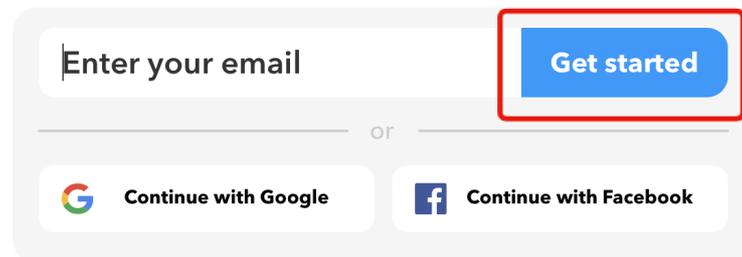
or

GoogleやFacebookのアカウントをお持ちでない場合は **Get started** を押して登録します。

IFTTT

A world that works for you

IFTTT is the free way to get all your apps and devices talking to each other. Not everything on the internet plays nice, so we're on a mission to build a more connected world.



Enter your email

or

登録するメールアドレスとパスワードを入力し、**Sign up** ボタンで登録できます。

Sign up

Get updates for products available on IFTTT

Sign up

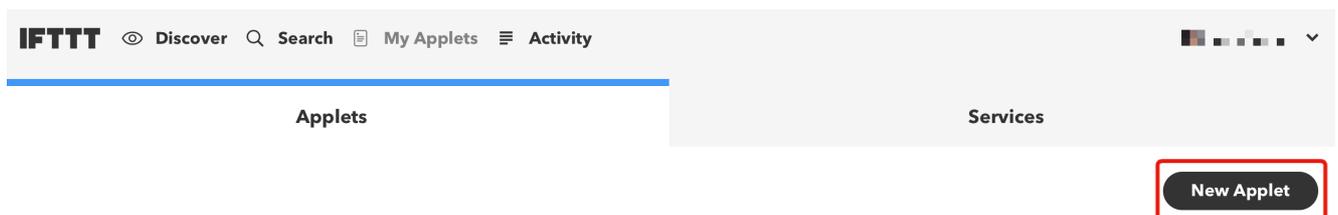
[Continue with Google or Facebook](#)

アプレット作成

サインインしたらトップのメニューより **My Applets** をクリックします。



次にアプレットを作成するために **New Applet** ボタンをクリックします。



+this の水色になっている箇所をクリックします。

New Applet

if  **this** then that

表示された画面の検索窓で **Webhooks** と入力すると Webhooks サービスが表示されるのでクリックします。

Choose a service

Step 1 of 6




Webhooks

トリガーの選択画面になり **Receive a web request** をクリックします。



Choose trigger

Step 2 of 6

Receive a web request

This trigger fires every time the Maker service receives a web request to notify it of an event. For information on triggering events, go to your Maker service settings and then the listed URL (web) or tap your username (mobile)

Event Nameの欄に **timer_for_It_log** と入力し、 **Create trigger** ボタンをクリックします。



Complete trigger fields

Step 2 of 6

Receive a web request

This trigger fires every time the Maker service receives a web request to notify it of an event. For information on triggering events, go to your Maker service settings and then the listed URL (web) or tap your username (mobile)

Event Name

timer_for_It_log

The name of the event, like "button_pressed" or "front_door_opened"

Create trigger

次の画面では **+that** の水色になっている箇所をクリックします。

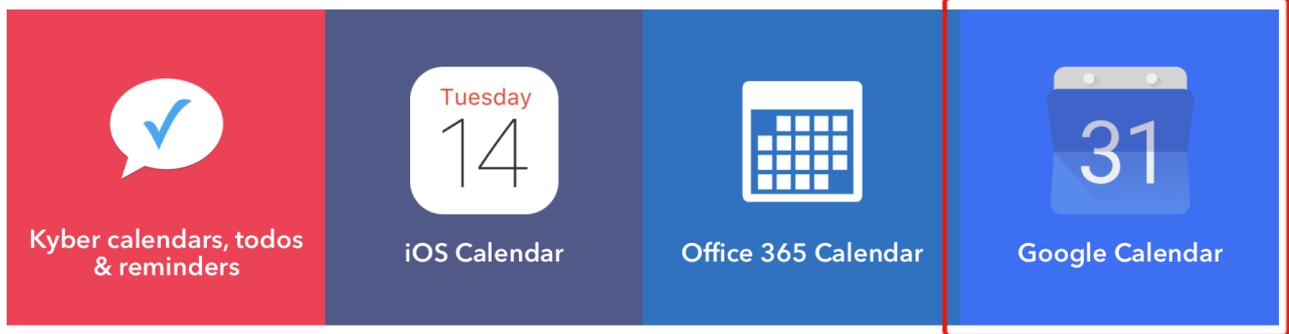
if  then  that

表示された画面の検索窓で **calendar** と入力するといくつかのカレンダーサービスが表示されるので、**Google Calendar** を選択します。

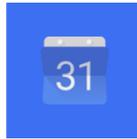
Choose action service

Step 3 of 6

 calendar



Google Calendarを選ぶと2つのアクションがあり、**Create a detailed event** を選択します。



Choose action

Step 4 of 6

Quick add event

This Action will add an event to your Google Calendar. Simply include a detailed description of when and what.

Create a detailed event

This action will create a detailed event in your Google Calendar.

Add ingredient をクリックすると設定する項目が選べます。

Create a detailed event

This action will create a detailed event in your Google Calendar.

Which calendar?

Timer for LT

Start time

{{Value2}}

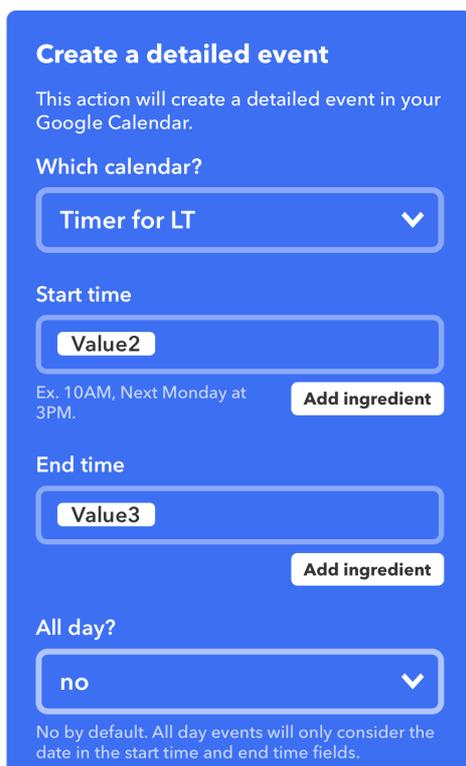
Ex. 10AM, Next Monday at 3PM. **Add ingredient**

Receive a web request	EventName
	Value1
	Value2
	Value3
	OccurredAt

Timer for LTでは Webhooks サービスに対して、**Value1** にタイトル、**Value2** に開始時刻、**Value3** に終了時刻を入れて渡してますので、下の様に選択していきます。

- Which calendar?では登録したいカレンダーを選択します。
 - ここではあらかじめGoogle Calendar上で Timer for LT用のカレンダー **Timer for LT** を作成していたとして、それを選択しています。
- Start timeでは **Value2** を選択します。
- End timeでは **Value3** を選択します。

- All day? では **no** を選択します。



Create a detailed event

This action will create a detailed event in your Google Calendar.

Which calendar?

Timer for LT

Start time

Value2

Ex. 10AM, Next Monday at 3PM. **Add ingredient**

End time

Value3

Add ingredient

All day?

no

No by default. All day events will only consider the date in the start time and end time fields.

- Titleでは **Value1** を選択します。
- そのほかは空欄でも大丈夫です。

入力が終了したら **Create action** を押します。



Title

Value1

Optional **Add ingredient**

Description

Optional **Add ingredient**

Location

Optional **Add ingredient**

Attendees

Optional comma separated list of attendee emails **Add ingredient**

Create action

確認画面が出ますので、アプレットに分かりやすいタイトルをつけます。
ここでは **Timer for LT**から**Google Calendar**に**記録**としています。



Finish ボタンを押してアプレットを登録します。



Webhooks keyを控える

Time for LTから Webhooksにアクセスする際に **Webhooks key** が必要になります。

Webhooks key を調べるにはトップメニューの **Search** をクリックします。検索窓に **Webhooks** を入力すると Webhooks サービスが表示されますのでクリックします。



Webhook

Services



Webhooks

Webhooksサービスの説明が表示され、右上の **Documentation** をクリックします。

Documentation

Settings



Webhooks

Integrate other services on IFTTT with your DIY projects. You can create Applets that work with any device or app that can make or receive a web request. If you'd like to build your own service and Applets, [check out the IFTTT platform](#).

Your key is: に表示されているキーを控えます。このキーをこの後Timer for LTに登録します。



Your key is:

ABEDD79735B9493FA4ADB

◀ Back to service

Time for LTの設定

Timer for LTの情報アイコンをタッチします。

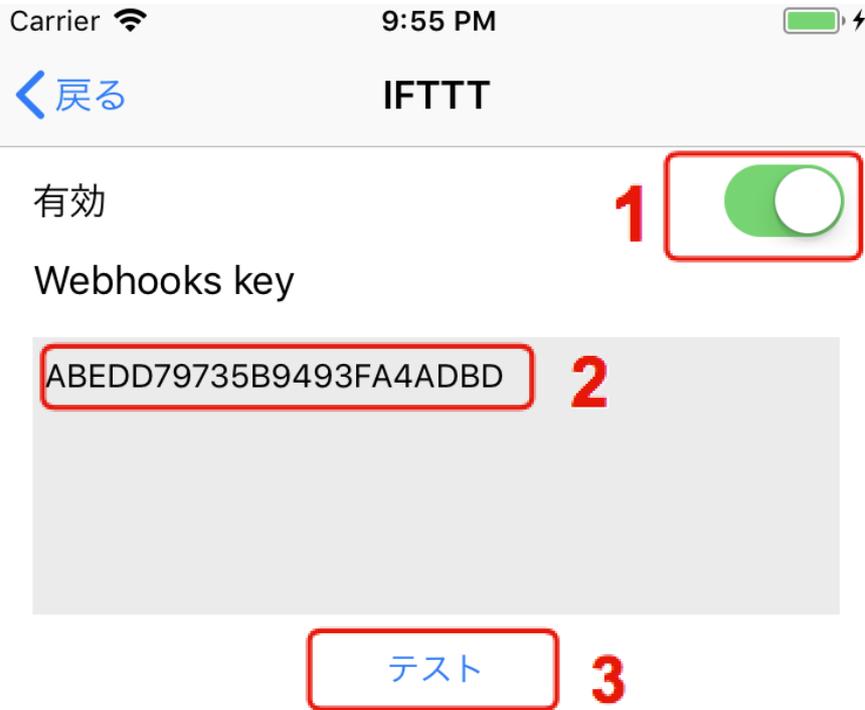


IFTTTの行をタッチします。



IFTTTと連携するために、上部のスイッチをオンにします。(1)

先ほど控えた **Webhooks key** をWebhooks keyの欄に入力します。(2)

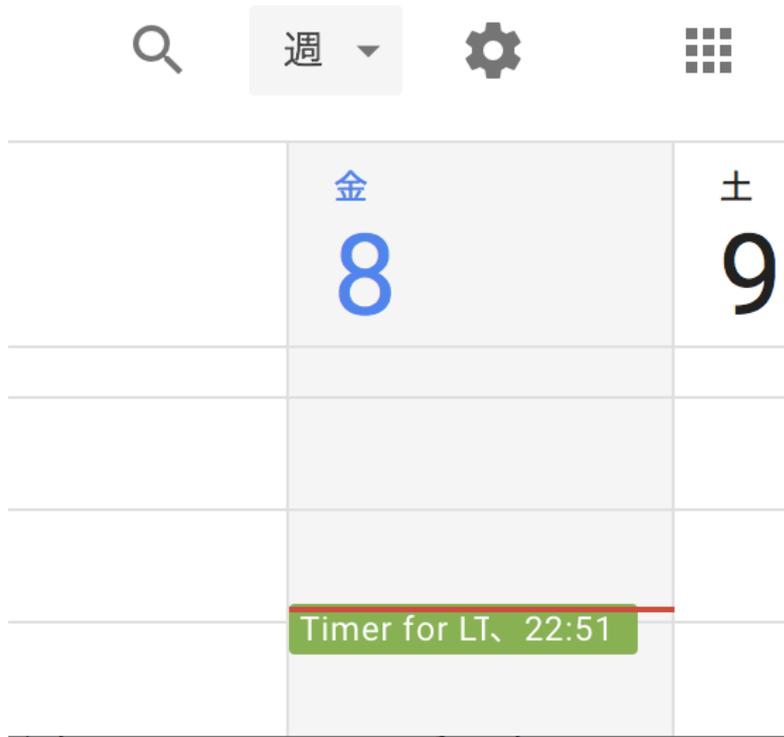


テストボタンをタッチしテストします。(3)

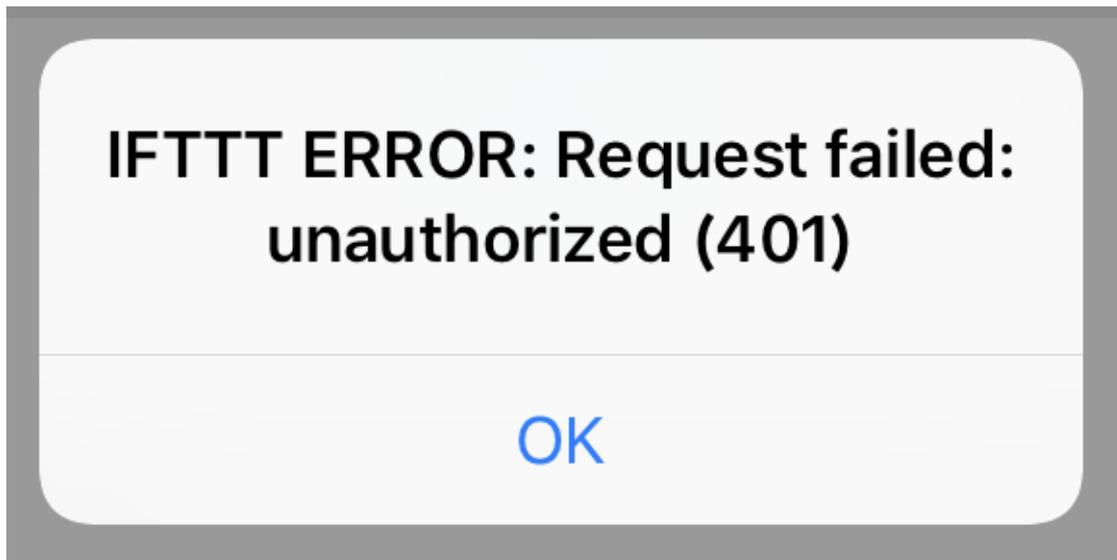
正常に送信されました! と表示されたら成功です



Google Calendar 上に記録されているのが確認できます。



IFTTT ERROR が表示された場合は Webhooks key が間違っているかアプレットの作成が間違っていますので、最初から読み直して間違いがないか確認してください。



使ってみる

タイマーを開始し、停止したタイミングでGoogle calenderに記録されます。

また、[時刻通知機能](#) でエリアを設定している場合(例えば自宅や学校など)は、そのエリアを出たところでそのエリアにいた時間が記録されます。

≡ 31 カレンダー 今日 < > 2018年 6月

2018年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

友だちのカレンダーを追加 +

マイカレンダー

- Timer for LT
- リマインダー
- 誕生日

他のカレンダー

- 日本の祝日

利田博純 - プライバシー

日	月
3	4
GMT+09	
12:00	
13:00	
14:00	学校
15:00	
16:00	
17:00	
18:00	
19:00	自宅
20:00	自宅 19:03~07:13
21:00	勉強内容
22:00	勉強内容
23:00	勉強内容

勉強内容

- 国語 19:54~20:44
- 数学 21:00~21:50
- 英語 21:57~22:47

ここではGoogle Calendarとの連携について説明しましたが、iPhoneやMacのカレンダーやEvernote、Slackなどに記録することもできます。Googleスプレッドシートに登録すると計算ができる様になり、時間の集計を行うこともできる様になります。

アプレットをどんどん追加することで同時に色々なサービスと連携することができます。

面白い使い方ができましたら、ブログなどで紹介してください。